令和８年度　　通信教育実施計画

松陰高等学校（本校／各学習センター）

教科	科目	単位数	履修上の留意点
芸術	書道Ⅱ	2	選択科目

指導目標

（1）書の表現の形式や方法、多様性などについての幅広い理解、書写能力の向上を図り、書の伝統に基づき効果的に表現するための基礎的、発展的な技能を身につける。
（2）書の良さ美しさを感得し、意図に基づいた構想や表現の工夫、書の伝統と文化の意味を思考し、書の美や味わいを感得できるようにする。
（3）主体的に書の幅広い活動に取り組み、生涯にわたり書を愛好する心情をはぐくむとともに、感性を高め、書の伝統と文化に親しみ、心豊かな生活や社会を創造する姿勢を養う。

教科書	副教材等	添削指導	面接指導
書道Ⅱ		6回	8単位時間

多様なメディアを利用した学習による面接指導時間数の減免実施の有無			多様なメディアを利用した学習による減免後の面接指導時間数
	□	実施している	該当なし
	☑	実施していない	

添削指導（レポート）

回	学習内容	対応する面接指導の回	提出期限
1	篆書の成立や特徴を理解し、 線の太さや曲線、均整のとれた字形を意識して書く。 また、刻字の表現について学び、文字を彫ることによる書表現の広がりを 理解する。	1.2	5月13日
2	隷書の特徴である、横画の広がりや「波磔（はたく）」などを理解し、 篆書から隷書への書体の変化について学ぶ。	3	6月6日
3	草書の特徴や成立を理解し、文字の省略や連続した筆の動きを学ぶ。 古典作品を鑑賞しながら、草書独特の流動的な表現を味わう。	4	7月4日
4	楷書の基本的な筆使いと整った字形、行書の流動的で実用的な表現について 理解し、それぞれの特徴を比較しながら書く。	5.6	10月21日
5	仮名の成立や特徴を理解し、線の細さや柔らかさ、余白や文字の連なりを意識した 表現を学ぶ。	7	11月11日
6	これまで学習した漢字・仮名の書を生かし、 自分の思いや好きな言葉を題材として、文字の大きさや配置、墨色などを 工夫した作品を制作する。	8	12月5日

面接指導(スクーリング)

回	単位時間	学習内容	実施場所	実施日
1		篆書の成立や特徴を理解し、篆書特有の線質や整った字形を意識して表現する。 篆書の成立と歴史的背景、篆書の字形や線質の特徴、他の書体との違い、 基本的な筆使い、篆書の臨書を学習する。	各学習センター	5月
2		篆書の特徴を生かした表現を深めるとともに、刻字を通して文字による造形表現への理解を深める。 篆書作品の鑑賞、字形や余白の工夫、刻字の歴史や表現方法、書と刻字の違い 篆書を生かした作品制作を学習する。	各学習センター	6月
3		隷書の特徴を理解し、横画の広がりや波磔など、隷書特有の筆使いを身に付ける。 隷書の成立と発展、篆書から隷書への変化、波磔などの特徴的な筆使い 古典作品の鑑賞、字形の特徴を意識した臨書を学習する。	各学習センター	7月
4		草書の特徴を理解し、文字の省略や点画の連続による流動的な表現を学ぶ。 草書の成立と特徴、楷書との字形の違い、点画の省略、連綿や筆脈 草書の古典作品の鑑賞と臨書を学習する。	各学習センター	7月
5		行書の特徴を理解し、点画のつながりや筆の流れを意識して表現する。 行書の成立と特徴、楷書との違い、点画の連続や省略、筆脈を意識した筆使い 古典作品の鑑賞と臨書を行う。	各学習センター	10月
6		楷書の基本的な筆使いや字形の構成を理解し、整った文字を書く力を養う。 楷書の特徴、基本的な点画の書き方、起筆・送筆・収筆、字形の整え方と中心の取り方、古典作品の鑑賞と臨書を学習する。	各学習センター	10月
7		仮名の書の特徴を理解し、柔らかな線や文字の連なり、余白を生かした表現を学ぶ。 仮名の成立と特徴、仮名特有の筆使い、連綿の表現、文字の大きさや配置 古筆の鑑賞、短い和歌や文章の表現を学習する。	各学習センター	12月
8		これまで学習した漢字と仮名の表現を生かし、自分の思いや意図を文字によって表現する。 漢字と仮名の調和、題材や言葉の選択、文字の大きさや配置、余白や全体構成の工夫、用筆や墨色の工夫、作品制作と鑑賞、自分や他者の作品の良さを学習する。	各学習センター	1月

多様なメディアを利用した学習

計画段階では実施予定なし

試験

回数	試験範囲	実施場所	実施日
1	実技評価を試験に代わる方法として位置付ける。	各学習センター	
2	実技評価を試験に代わる方法として位置付ける。	各学習センター	

学習の成果に係る評価及び単位の修得の認定に当たっての基準

添削指導、面接指導、実技の結果を総合的に評価する。
所定の添削課題の提出、面接指導の受講、実技評価を満たし、学習成果が認められる場合に単位を認定する。

その他

各学習センターでは、本校の通信教育実施計画及び指示に従い実施する。施設状況や生徒の状況等に応じて日程・実施方法を調整する場合も、本校の承認又は指示のもと、指導内容・評価・単位認定基準に変更が生じない範囲で対応する。